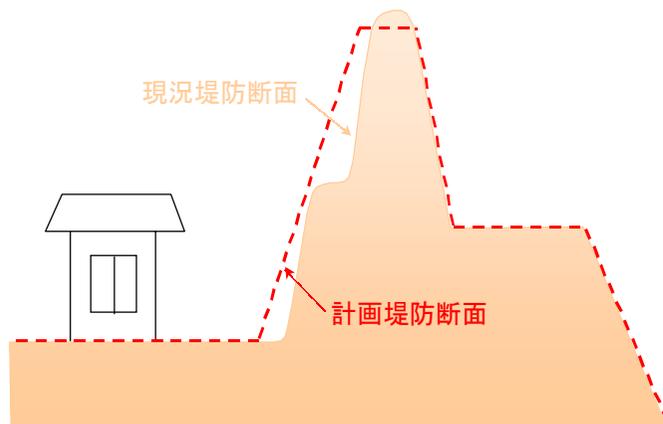


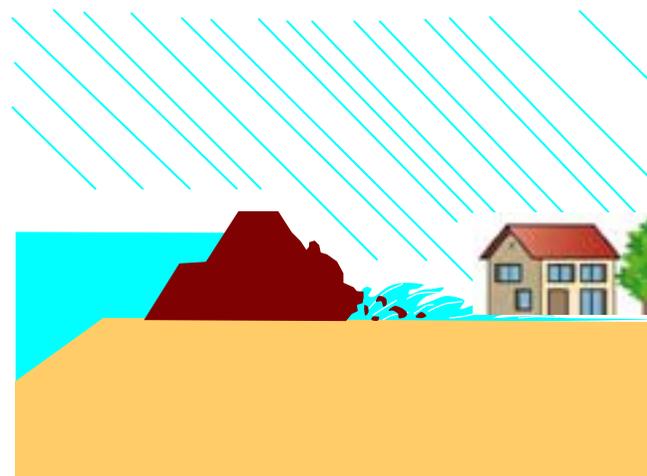
7. 質的安全度の向上

質的対策が必要な堤防

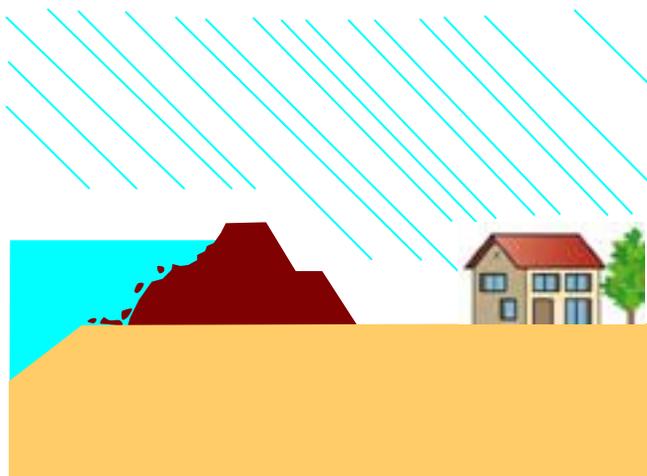
【断面不足】



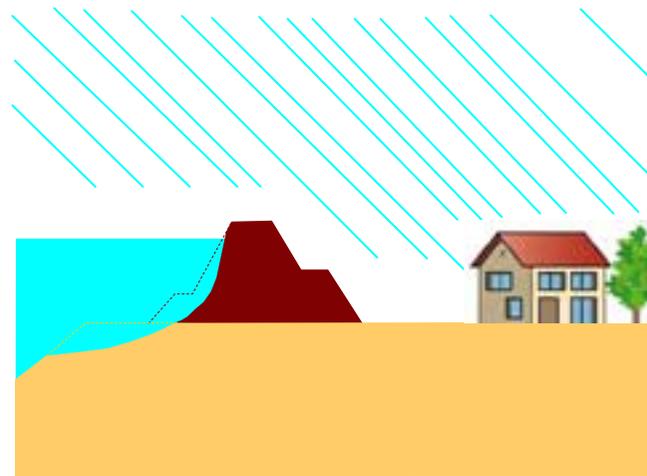
【漏水】



【法崩れ・すべり】



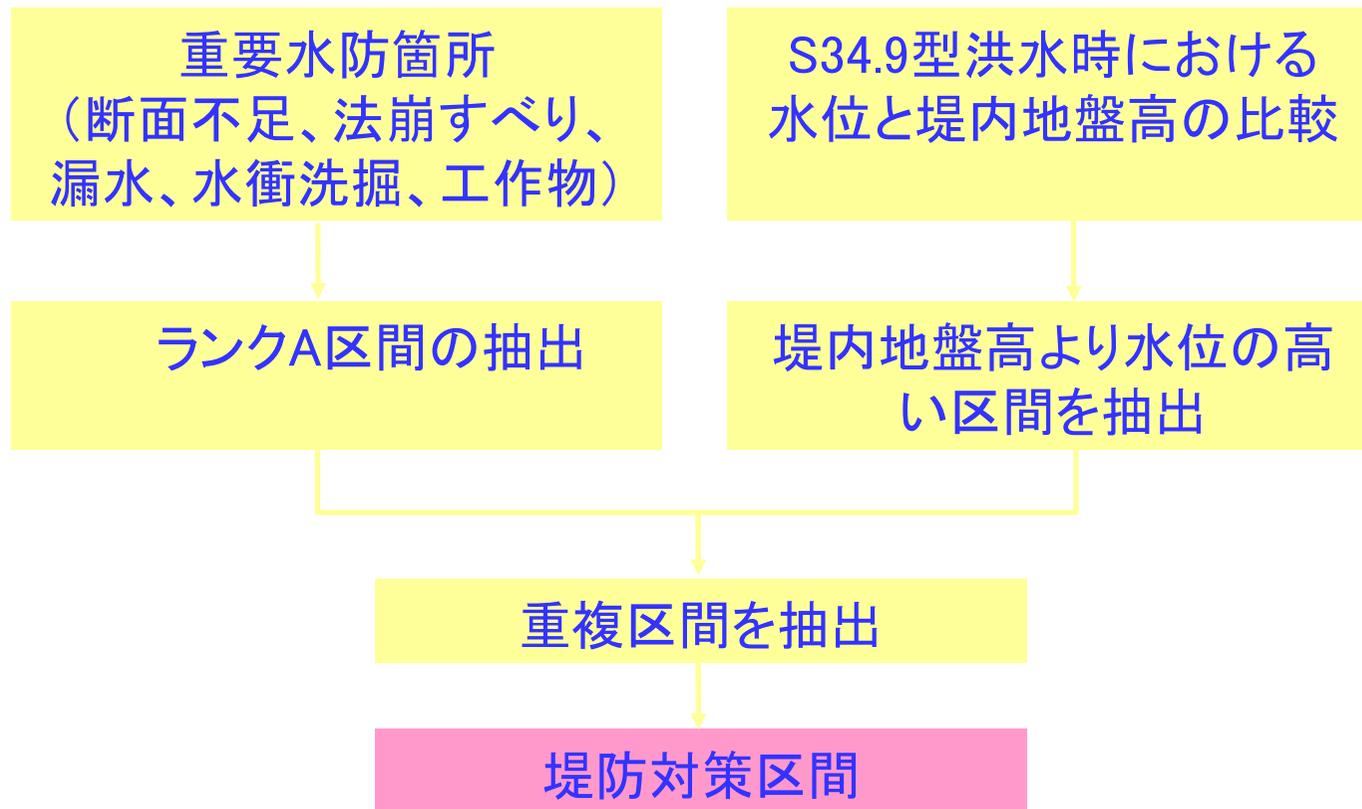
【水衝・洗掘】



堤防対策区間の抽出の考え方

【重要水防箇所からの抽出】

断面不足、法崩すべり、漏水、水衝洗掘、工作物の質的対策が必要となる箇所を以下の手順で抽出するものとする。



重要水防箇所とは

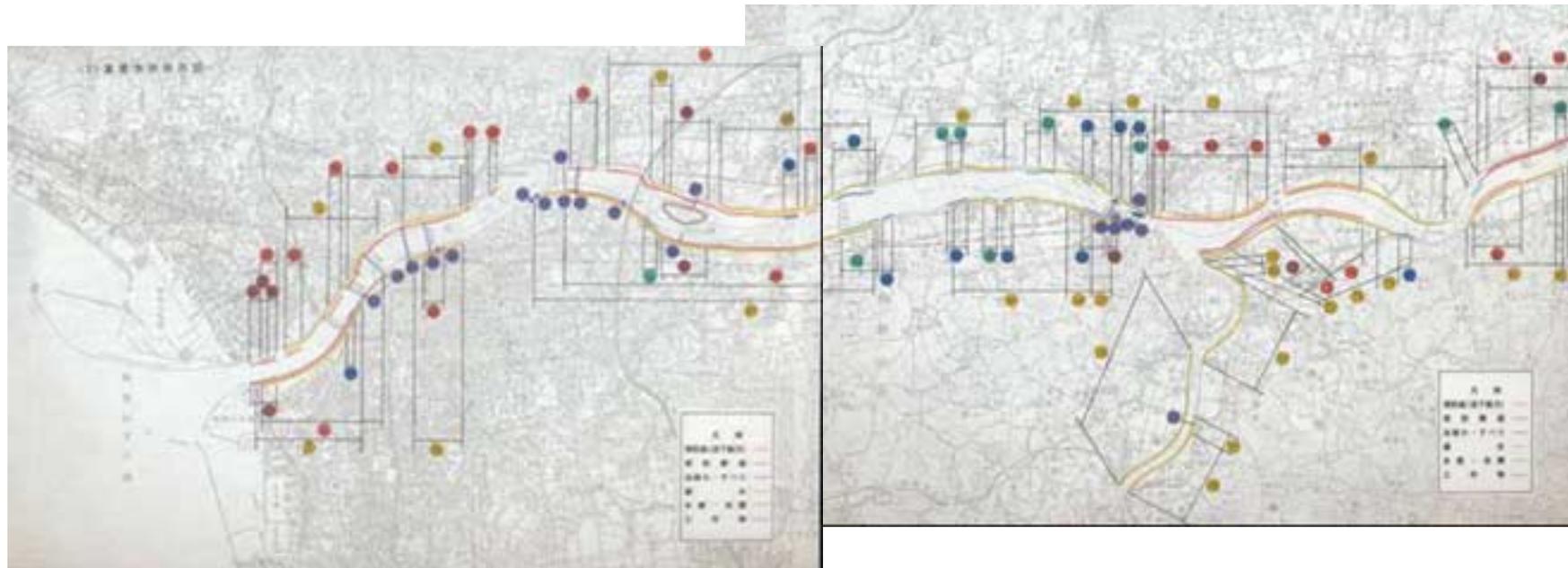
重要水防箇所は、以下のとおりである。

【重要水防箇所評定基準(案)】

種別	重要度		要注意区間
	A 水防上最も重要な区間	B 水防上重要な区間	
堤防断面	現況の堤防断面あるいは天端幅が、計画の堤防断面あるいは計画の天端幅の2分の1未満の箇所。	現況の堤防断面あるいは天端幅が、計画の堤防断面あるいは計画の天端幅に対して不足しているが、それぞれ2分の1以上確保されている箇所。	
法崩れ・すべり	崩れ又はすべりの実績があるが、その対策が未施工の箇所。	法崩れ又はすべりの実績があるが、その対策が暫定施工の箇所。 法崩れ又はすべりの実績はないが、堤体あるいは基礎地盤の土質、法勾配等からみて法崩れ又はすべりが発生するおそれのある箇所で、所要の対策が未施工の箇所。	
漏水	漏水の履歴があるが、その対策が未施工の箇所。	漏水の履歴があり、その対策が暫定施工の箇所。 漏水の履歴はないが、破堤跡又は旧川跡の堤防で、漏水が発生するおそれがある箇所で、所要の対策が未施工の箇所。	
水衝・洗掘	水衝部にある堤防の前面の河床が深掘れしているがその対策が未施工の箇所。 橋台取り付け部やその他の工作物の突出箇所で、堤防護岸の根固め等が洗われ一部破損しているが、その対策が未施工の箇所。 波浪による河岸の決壊等の危険に瀕した実績があるが、その対策が未施工の箇所。	水衝部にある堤防の前面の河床が深掘れにならない程度に洗掘されているが、その対策が未施工の箇所。	

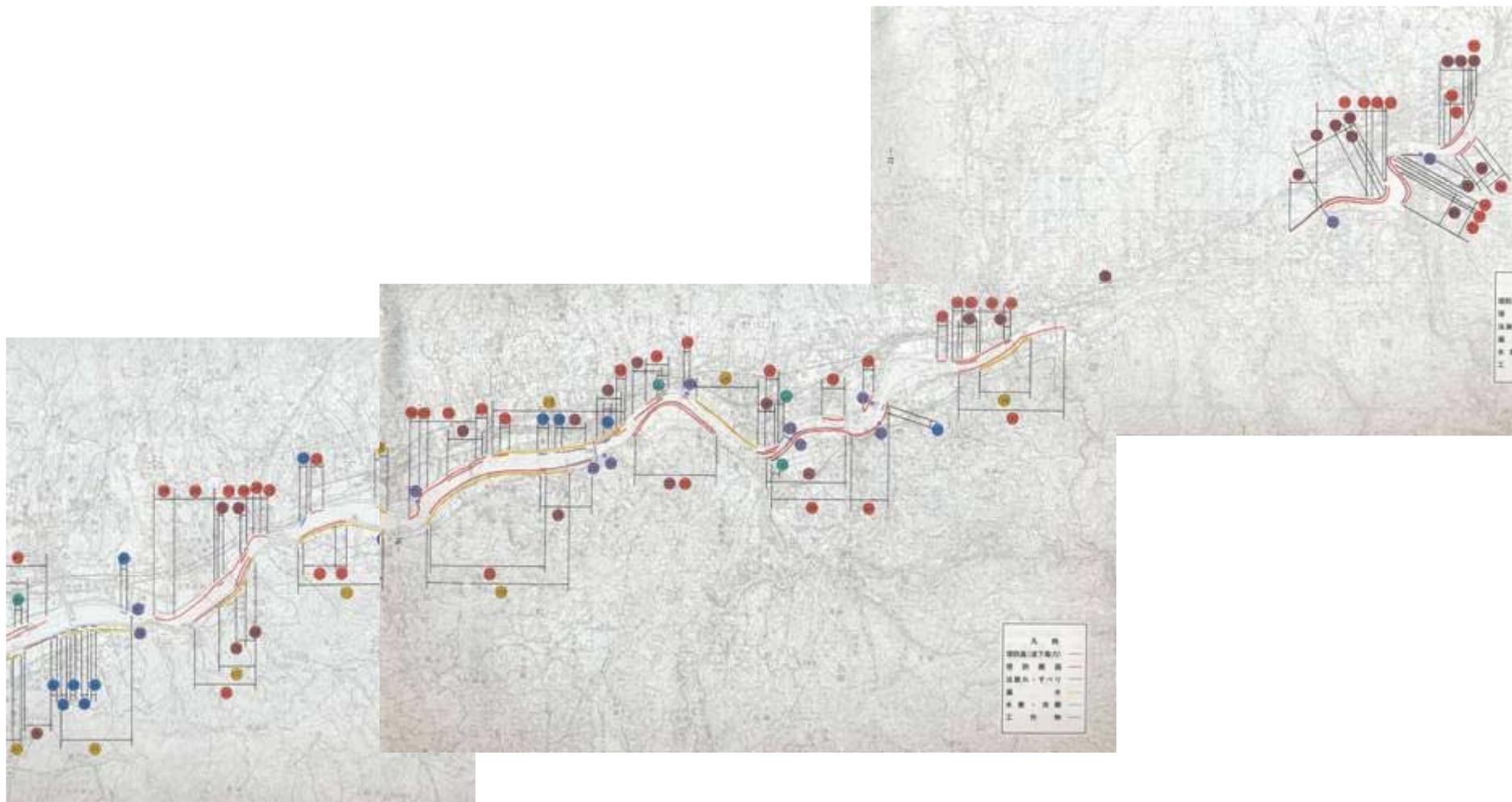
重要水防箇所(1)

紀の川の重要水防箇所は、以下のとおりである。

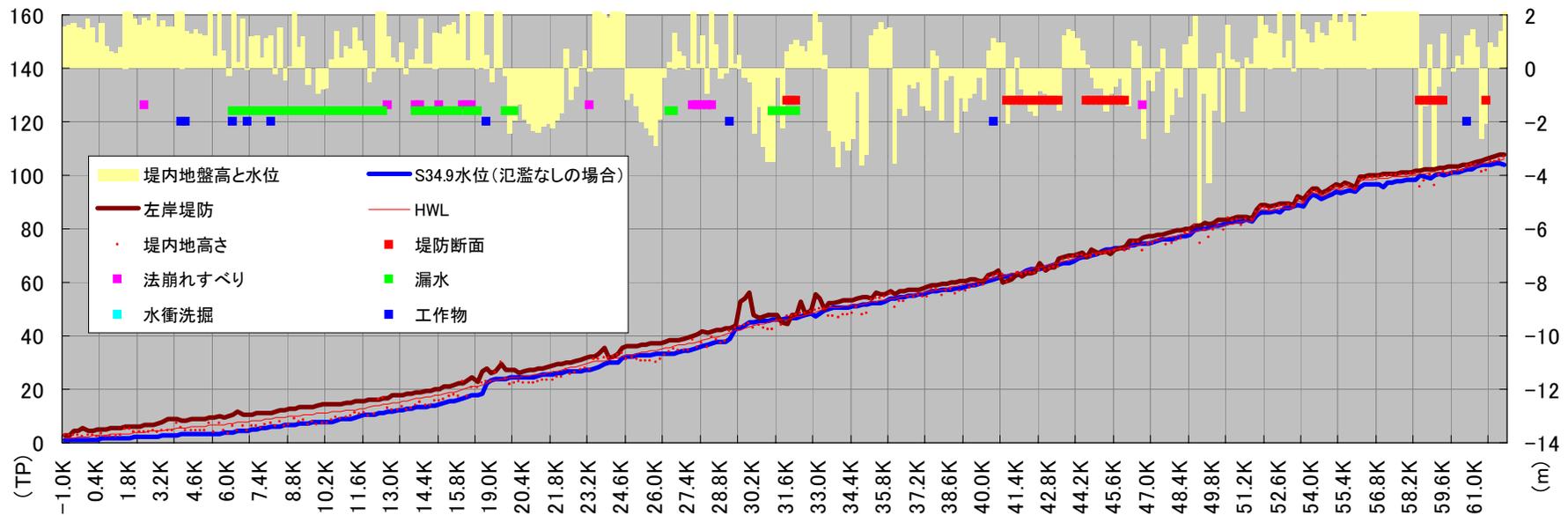
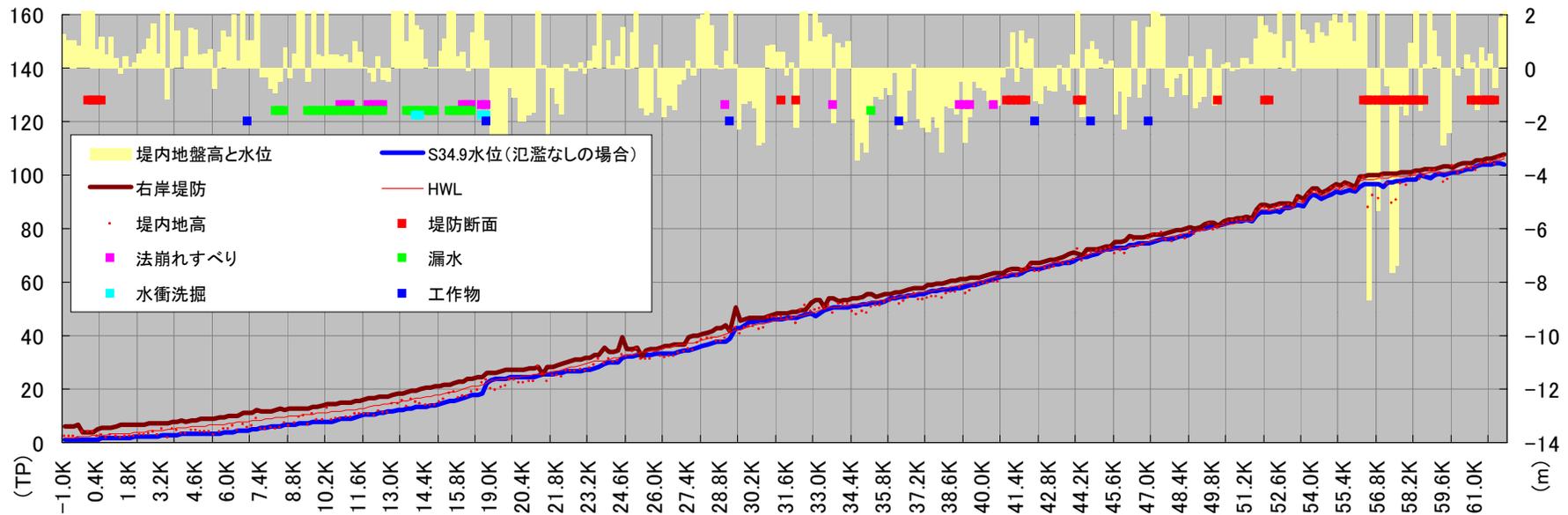


重要水防箇所(2)

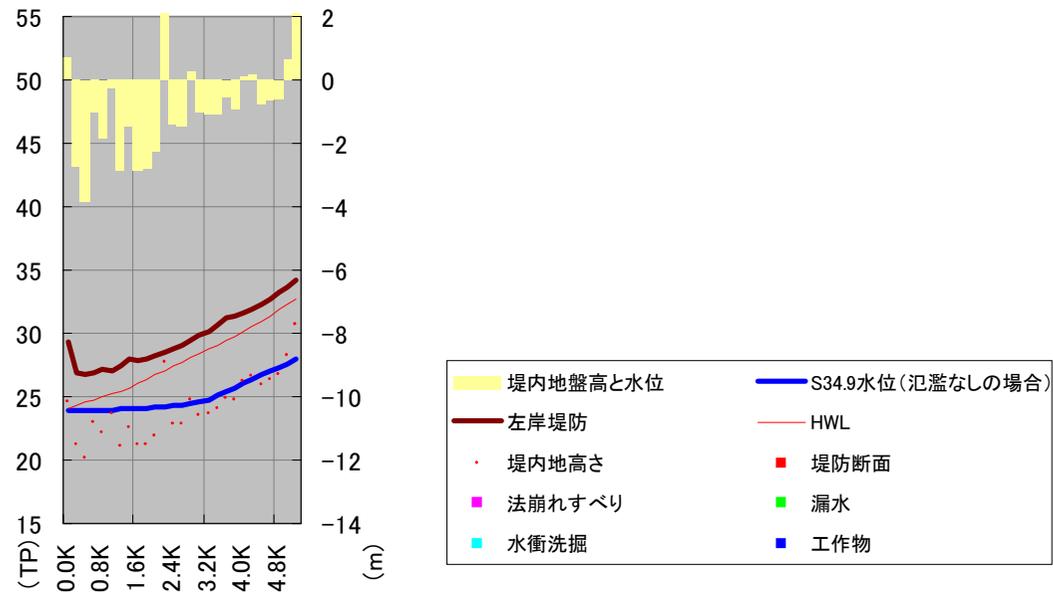
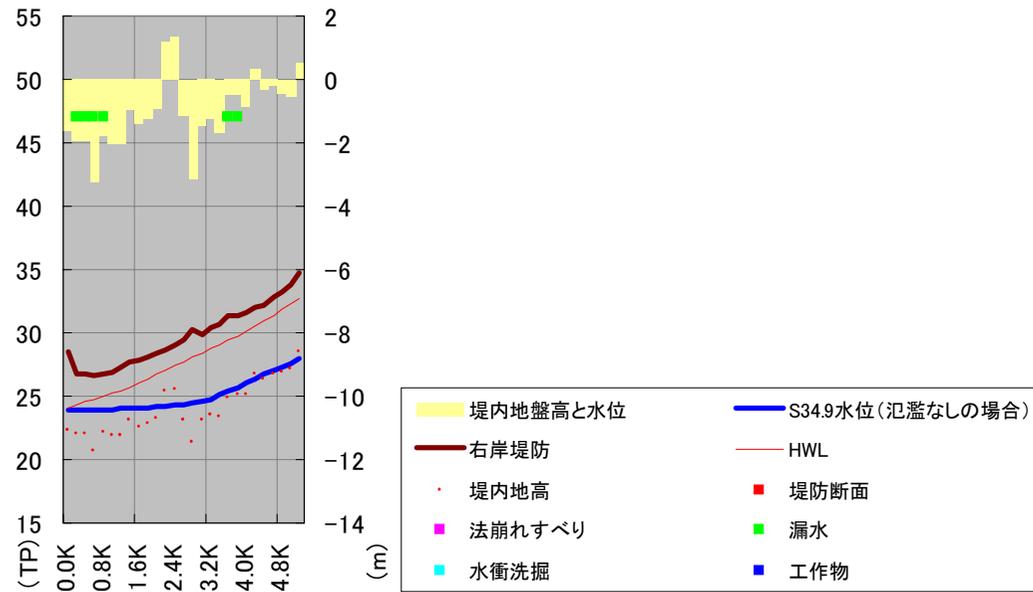
紀の川の重要水防箇所は、以下のとおりである。



天井川区間と重要水防箇所(紀の川)



天井川区間と重要水防箇所(貴志川)



堤防対策区間の抽出

堤防等の質的対策が必要となる箇所は、以下のとおりである。

【右岸】

堤防断面	法崩れすべり	漏水	水衝洗掘
40.9～41.9K	12.0～12.7K	7.9～8.4K	
50.0～50.1K	16.0～16.1K	9.4～12.6K	
60.7～61.4K	33.5～33.6K	15.4～16.4K	
	39.0～39.2K	35.1～35.3K	
	39.4～39.5K		
	40.4～40.5K		
延長：1.8km	延長：1.3km	延長：4.9km	—

【左岸】

堤防断面	法崩れすべり	漏水	水衝洗掘
	23.2～23.3K	6.2～12.5K	
	28.0～28.1K	19.6～20.1K	
	28.2～28.3K	30.9～32.0K	
	46.8～46.9K		
—	延長：0.4km	延長：7.9km	—

【貴志川右岸】

堤防断面	法崩れすべり	漏水	水衝洗掘
		0.2～0.8K	
		3.6～3.8K	
—	—	延長：0.8km	—

※左岸は該当無し。

